

## 令和8年第3回京田辺市教育委員会定例会会議録

日 時 令和8年3月18日（水）午後3時30分 開会  
午後5時25分 閉会  
場 所 京田辺市立中央公民館第1研修室

### 会議日程

- |       |        |                              |
|-------|--------|------------------------------|
| 日程第1  | 教育行政報告 |                              |
| 日程第2  | 報告第6号  | 令和7年度第2回京田辺市立小中学校いじめ調査結果について |
| 日程第3  | 報告第7号  | 専決処分の報告について                  |
| 日程第4  | 報告第8号  | 専決処分の報告について                  |
| 日程第5  | 報告第9号  | 専決処分の報告について                  |
| 日程第6  | 議案第17号 | 京田辺市学校施設長寿命化計画の改定について        |
| 日程第7  | 議案第18号 | 京田辺市新しい学校づくりプランの策定について       |
| 日程第8  | 議案第19号 | 第3次京田辺市子ども読書活動推進計画の策定について    |
| 日程第9  | 議案第20号 | 京田辺市立図書館サービスアクションプランの策定について  |
| 日程第10 | 議案第21号 | 京田辺市立小中学校共同学校事務室の室長等の任命について  |
| 日程第11 | 議案第22号 | 京田辺市教育委員会子ども表彰要項による表彰について    |

### 出席者

教育長	山岡	弘高
委員（教育長職務代理者）	藤井	直
委員	上村	真代
委員	伊東	明子
委員	塘	利枝子

（事務局出席職員）

教育部長	櫛田	浩子
教育指導監	片山	義弘
教育部副部長	古谷	隆之

教育総務室担当課長	平岡	孝章
こども・学校サポート室総括指導主事	南部	智彦
学校教育課長	田原	暁
学校給食課長	西村	明
社会教育課長	早田	陽輔
社会教育課担当課長	七五三	和広

(事務局書記職員氏名)

教育総務室総務係長	志場	吉洋
教育総務室再任用主査	鈴木	勝浩

## 会議の要旨

### ○開会宣言

教育長が開会の宣言をした。

### ○日程第1 教育行政報告

[報告]

前回の会議以降の教育行政関係行事及び議会審議状況について資料配付により報告

[質疑]

なし

### ○日程第2 報告第6号「令和7年度第2回京田辺市立小中学校いじめ調査結果について」

[説明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質疑]

(塘委員)

いじめ、不登校等の対応方法について、若い教員にどのように指導されているのか。

(事務局)

チームでの対応が必要になるので、事象について共通理解しながら連携して対応している。

(塘委員)

要支援、要指導等の確認は担任が行うのか。それとも、福祉担当の教員をはじめ学校全体で確認されるのか。

(事務局)

児童生徒がアンケートに回答した内容を担任が確認して、聴き取り等を行っている。

(伊東委員)

今年度、中学校で暴力事象が増えたとのことだが具体的な内容は。

(事務局)

「ちょっかい」、「手を出す」等が多い。

(伊東委員)

学校をまたいで起こった事象はあるのか。

(事務局)

中学校では、部活動等で学校をまたいで起こった事例はある。

(伊東委員)

その場合、それぞれの学校の教員が協力して解決を図られるのか。

(事務局)

それぞれの学校の担任、顧問等が連携して対応している。

(藤井委員)

いじめの状況について、コロナ禍の前後で違いはあるのか。

(事務局)

コロナ禍の影響については今後検証したい。

(藤井委員)

暴力的事象件数について、小学校で令和4年度、令和5年度が多く、中学校で令和6年度、令和7年度が多いが、特定のこどもによる事象か。

(事務局)

小学校で落ち着きがないこどもが中学校に進学して落ち着き、件数が減少するということはある。令和7年度が多いのは、基準が曖昧な部分が表れているのではないか。

(藤井委員)

京都府の調査において、城陽市、八幡市の解消件数が突出している理由は。また、亀岡市の重大事案3件の具体的な内容は。

(事務局)

把握していない。確認できれば報告したい。

(教育長)

学年別認知件数は、学年が上がるにつれ減少する傾向にあるが、令和5年度は1年生、令和6年度は2年生、令和7年度は3年生が突出している原因は。

(事務局)

この学年は、人との接触を避けなければならなかったコロナ禍に就学前の時期を過ごしており、その影響が少なからずあるものとする。

(教育長)

令和7年度から暴力的事象の計上方法を変更したとのことだが、異なる基準で計上した結果を経年の結果としてまとめることは妥当か。

(事務局)

内容を精査して修正の上、再提出したい。

(教育長)

計上方法について、学校に指導、助言を行っているのか。

(事務局)

基準に基づき計上するよう学校に指導している。

○日程第3 報告第7号「専決処分の報告について」

○日程第4 報告第8号「専決処分の報告について」

○日程第5 報告第9号「専決処分の報告について」

日程第3から日程第5までの3件について、教育長から一括議題とする提案があり承認された。

[説明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質疑]

(藤井委員)

デマンド値は、上げたのか、下げたのか。

(事務局)

上げる形で再設定した。

(藤井委員)

ここ数年の夏の暑さでは、上手に使わないとすぐにデマンド制御で空調が止まってしまう。効果的な使用方法について各学校に助言していただきたい。

(事務局)

校長会でも、空調の使用時には、窓を閉め、設定温度を守りながら適切に使用するように指導している。水分補給等の熱中症対策も行いながら、児童生徒が安全安心に過ごせる環境を整えたい。

○日程第6 議案第17号「京田辺市学校施設長寿命化計画の改定について」

[説明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質疑]

(藤井委員)

本計画と新しい学校づくりプランは計画期間が非常に長い。計画期間中に担当職員も替わっていくが、計画策定時の方針を引き継ぐ精神と時代の流れに応じて柔軟に見直す精神のバランスを取りながら、有効に引継ぎを進めていただきたい。

[採決]

原案どおり可決された。

○日程第7 議案第18号「京田辺市新しい学校づくりプランの策定について」

[説明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質疑]

なし

[採決]

原案どおり可決された。

○日程第8 議案第19号「第3次京田辺市子ども読書活動推進計画の策定について」

[説明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質疑]

(伊東委員)

概要版に載っている内容で、本編に載っていないものがある。文章の展開がおかしい部分や文章の繋がりに違和感がある部分があるので、整理していただきたい。体裁についても統一されていないので、整理していただきたい。また、「ボランティア等の参加と協力が必要」とあるが、実際に活動されているところの紹介や、どこの区域で活動が必要なのかを明記すれば、取組を推進しやすいのではないか。

(塘委員)

市の図書館で実施するイベントに行ったことがあるかを問うアンケートで、「イベントがあることを知らない」と回答した5年生保護者が42%であるが、学校を通じてイベント等の案内をしていないのか。

(事務局)

広報紙やインターネットでイベントの案内を行っているが、学校に案内を配布することについても検討したい。

(塘委員)

保護者が、アンケートで「学校等でみんなが必ず読書する時間をつくる」ことを要望しているようだが、朝の読書会をどの学校で実施しているのか。また、実施によってどのような効果があったのか等の実績はないのか。

(事務局)

把握していない。

(塘委員)

同志社女子大学では、城陽市の図書館まで行っておはなし会を行っている。京田辺市でも協力させていただきたいので、どうすればよいか教えていただきたい。

(事務局)

どのような形で実施していただけるか、相談させていただきたい。

(上村委員)

「国立国会図書館国際子ども図書館・府立図書館との連携やICT活用の充実」について、具体的な方策が分からないので、京田辺市でICTをどのように活用できるのか具体的に示していただきたい。また、概要版の「学校等における読書活動の推進」で学校の取組と役割を列挙しているが、項目が多いのもっと厳選してはどうか。

(藤井委員)

本計画は、どういった市民に読んでいただくことを想定しているのか。

(事務局)

広く一般市民に読んでいただきたい。学校、幼稚園をはじめ関係団体に周知したい。

(藤井委員)

こどもの読書活動を推進するのであれば、もう少し子どもにも理解しやすい内容に工夫していただくほか、分量ももう少しコンパクトにしていただく方が良いのではないか。また、計画策定の趣旨に「本計画の成果と課題を明らかにし」とあるが、成果はどこに書かれているのか。さらに、「子ども」と「児童生徒」の使い分けがされていないのははじめ、文章の展開がおかしいものもあり、文言の統一も含めて精査していただき、多くの方々に読んでいただけるような計画にしていきたい。また、概要版の1頁にはQ1、Q2の2つのグラフが示されているが、両方とも6点の凡例を表記すべきところ、Q2には4点しか表記されていないのではないか。

(教育長)

文化庁の調査結果を載せているが、同調査は子どもだけを対象にしているわけではないので、調査結果をこどもの読書活動の現状にそのまま結びつけるのは妥当なのか。

(事務局)

文化庁の調査は成人も含めた調査なので、こどもの状況が分かれば記載したい。

(教育長)

令和6年度の学校図書館の貸出冊数と利用者数が、令和5年度より減少した要因は。

(事務局)

休み時間が減ったことによる影響があるものとする。

(教育長)

本件については、多くの意見をいただいたこともあり、現時点で採決することは十分な合意形成ができておらず適切でないため、必要な修正を行い、再提出することとしたい。

## ○日程第9 議案第20号「京田辺市立図書館サービスアクションプランの策定について」

[説明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質 疑]

(塘委員)

大人だけではなく子どもにも理解しやすいように、パンフレット等を作成してはどうか。

(事務局)

計画を公表する中で図を載せる等、分かりやすくなるような工夫をしたい。

(塘委員)

プランの策定に当たって他の図書館も調査されたと思うが、その中で新しい図書館づくりの参考になりそうなアイデアはあったか。

(事務局)

近隣の図書館の取組も十分研究して、市民のニーズにあった図書館づくりに努めたい。

(塘委員)

市民はたくさんアイデアを持っているので、図書館にポストを置いてアイデアを集約する等してはどうか。これからの図書館は、本を読むだけでなく、人が交流する場になっていくと考える。

(藤井委員)

パブリックコメントで本プランの内容が分かりにくいといった意見が散見される。分量が非常に多く、表現も統一されていないので、文言の統一をはじめ、子どもにも読んでもらえるようにもっとコンパクトにまとめていただきたい。第4章については個人の考えが強く出ている。行政文書として広く市民に伝えたいのであれば、箇条書きする等もっと読みやすく工夫していただきたい。

(伊東委員)

文章が読みづらいので、もう少し中身が想像しやすいような内容にまとめていただきたい

(上村委員)

広く市民に読んでいただけるように、もう少しコンパクトにまとめていただきたい。

(教育長)

市の他の計画等と整合を図る必要があること等から、ある程度の分量になることは理解できる。しかし、できる限り多くの市民に読んでいただくために、整理できるところはしっかり整理して、よりコンパクトにまとめることで今後の読書活動の推進にもつながるものとする。本件についても、現時点で採決することは十分な合意形成ができておらず適切でないため、必要な修正を行い、再提出することとしたい。

**[会議の非公開]**

日程第10及び日程第11の2件については、教育長が議事の内容を踏まえ、会議を非公開とすることについて提案し、委員全員から同意が得られたため、会議を非公開とすることとなった。

**○日程第10 議案第21号「京田辺市立小中学校共同学校事務室の室長等の任命について」**

[説明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質疑]

(藤井委員)

共同学校事務室の運営は順調か。課題はあるのか。

(事務局)

相互チェックにより事務のミスを防止したり、消耗品の購入に当たり教育委員会と連携して一括で入札することで購入費を3割程度おさえることができたこともあり、京都府内の共同学校事務室と比べてもうまくいっているものと考えられる。

(藤井委員)

併せて若手の人材育成にも取り組んでいただきたい。

[採決]

原案どおり可決された。

**○日程第11 議案第22号「京田辺市教育委員会子ども表彰要項による表彰について」**

[説明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質疑]

なし

[採決]

原案どおり可決された。

**[会議を非公開とすることの終了宣言]**

非公開事件の議事日程が終了したため、教育長が、会議を非公開とすることの終了を宣言した。

**○閉会宣言**

教育長が閉会の宣言をした。